




筑波大学 × 神田外語大学

国際スポーツボランティア 人財育成プログラム

実施報告書

I. 開催概要

開催日程

2018年6月10日（日）、17日（日）（2日間）

開催目的

ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などの国際大会におけるボランティアとして活躍するために教養・知識を身につける。障害のある人へのサポート方法などを実技を通して学ぶ。

開催場所

筑波大学（東京キャンパス 120 教室）・神田外語学院（東京キャンパス本館 7 階大講堂）

主催（共催）

筑波大学 オリンピック・パラリンピック総合推進室
神田外語大学 スポーツ通訳ボランティア推進室

II. 参加者内訳

申込者／参加者／修了者数

| 項目 | 人数 |
|--------|-------|
| 申込者総数 | 202 名 |
| 参加決定者数 | 65 名 |
| 修了者数 | 59 名 |

大学別参加者数内訳

| 大学名 | 参加者数 |
|----------|------|
| 神田外語大学 | 44 名 |
| 神田外語学院 | 5 名 |
| 筑波大学 | 11 名 |
| 東京大学 | 1 名 |
| 順天堂大学 | 3 名 |
| お茶の水女子大学 | 1 名 |
| 参加者総数 | 65 名 |

男女別参加者数内訳・比率

| | | |
|----|------|-------|
| 男性 | 16 名 | 24.6% |
| 女性 | 49 名 | 75.4% |



筑波大学 × 神田外語大学

国際スポーツ ボランティア 人財育成プログラム

▶開催日程
6月10日（日）・17日（日）2日間

▶開催目的
ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などの国際大会におけるボランティアとして活躍するために教養・知識を身につける。障害のある人へのサポート方法などを実技を通して学ぶ。

▶開催場所
筑波大学※東京キャンパス 120 教室・神田外語学院※東京キャンパス 本館7階大講堂

▶対象 ▶受講料
大学生（定員90名） 5,000円（税込）

▶修了証
全日程出席者に修了証を発行
※筑波大学・神田外語大学 卒業生にのみ発行可能
※修了証は卒業後1年以内のみに有効です。

TOKYO2020
教育プログラム
[4311ドット]

Ⅲ. 当日の様子

1 日目 筑波大学 東京キャンパス文京校舎



▲集合写真（ボッチャ体験会后）



▲ボッチャ体験会



▲真田教授によるオリンピックの歴史と教育



▲岩田キャプテンによるパラリンピアンから学ぶ人間力

2 日目 神田外語学院 東京キャンパス



▲朴専任講師によるスポーツと言語から学ぶグローバル人材



▲江上客員教授によるグローバルマナーと異文化コミュニケーション



▲集合写真（修了式後）

IV. 参加者の受講後レポートより

➤ ひとつひとつの講義がコンパクトであったため 1 日で密度・濃度の高い講義を拝聴することができました。オリンピック・パラリンピックにボランティアが運営に携わるという仕組みには（有償か無償などという議論は措くとして）短期的に限定して大量の運営要員を要するという構造上の理由と、開催国市民が能動的に参加する機会を広く開くという理念的な理由のふたつがあると思います。今回の講座は当然ながら後者の視点が強く出ていたように思いますが、前者の視点からの講義（オリンピック全体の運営の仕組みや、ボランティアが全体に占める役割・位置など、精神ではなく実務）もあれば良かったと思います。（東京大学・男性）

➤ 2 日間を通して、今まで知らなかったオリンピックの歴史を学べたり、競技を体験できたり、オリンピックの生の声を直接聴けたりなど、さまざまな盛りだくさんの内容にとっても充実し、とても楽しめました。そして、自分の夢は何かを考え、ひたむきに追求める姿勢や希望を持つこと、チャレンジすることの大切さを学ぶことができました。ボランティアは人間形成に大きく影響を与えるような印象を受けました。人間同士のすてきなつながりや思いやり、協力などがそこには存在していると感じました。このような機会を与えていただき、とても感謝しています。ありがとうございました。（筑波大学・女性）

➤ まず東京で行われるオリンピックの大会ビジョンなど、知らないことも多く、まず自分自身がオリンピック開催への準備や心構えができていないと感じました。無償労働ではなく、オリンピックを作り上げるんだという自主性を心に置いて、積極的に関わりたいという姿勢を持っていきたいです。（筑波大学・女性）

➤ オリンピック、パラリンピックについて知らないことばかりでとても勉強になった。パラリンピックやパラ・スポーツがどのように発展しどれ程の影響を世に与えたか、パラ・アスリートの皆さんの人並み以上の苦難や努力、活躍を学ぶ貴重な機会に参加でき、さらにボランティアに対する意欲が湧いた。また、インテグレートな考えで他者に接することは「おもてなし」では無くただの押し売りになってしまう可能性がある。相手に心からの「おもてなし」をするためにはダイバーシティな考え方が重要であり調和に繋がる。大会ビジョンでもある、「多様性と調和」を理解するために、そして自分の常識を他者にも当てはまること無いように、より多くの多様な人とコミュニケーションをとる必要があると思った。（順天堂大学・女性）

➤ 私は漠然と東京オリンピックに携わりたいと考えていましたが、今回のお話を通してボランティアの活動に対するイメージが膨らんだので、とても有意義でした。また、同じように東京 2020 を盛り上げたいと考えている同年代の方々と知り合えたのもこれからの力になりそうです。今回のポッチャがとても楽しかったので、来週も何かを体験する機会があると嬉しいです。（お茶の水女子大学・女性）

➤ 今回の講座を受講し、オリンピックだけでなく、パラリンピックのボランティアへの興味が湧きました。そして以前よりもっと、東京 2020 に何かしらして関わりたいと思いました。今回学んだことはボランティアだけでなく、これからの生活に生かしていけるものだと強く確信しております。そしてなによりもスポーツを通し、国際的な交流ができるようなボランティアや自分の言語能力を活かしたボランティアに積極的に参加したいと感じました。もっと様々なスポーツ、言語をこれからの人生で学び、体験したいと思います。（神田外語大学・女性）